

令和7年度 授業改善推進プラン（英語）

1 学校全体の取組

<p>●研究テーマ 学び合い、教え合い、高め合う集団の育成 ～対話的な学びの充実を目指して～</p> <p>●研究仮説 心理的安全性の視点に基づいた学級経営・集団の育成を図り、それを基にした学び合い・教え合いの活動を 取り入れた 授業を行うことで、生徒の対話的な学びが充実し、新たな視点・価値観を見出すことができるようになる。</p> <p>●協調学習について 研究テーマの実現を目指し、その仕掛けとして「協調学習」を推進しています。 協調学習：一人ひとりの生徒が自らの頭で考え、仲間と考えを比較吟味し、より適切な答えをつかっていく学習スタイル。</p>

★1年 山内 正治

2 福生市学力調査からみる教科の状況（成果）

	質問項目・学力調査の問題	R7学校	R7 全国
英	「ダンスをする」を聞き取る	98.6%	93.4%
英	「今何時ですか」への答えを聞き取る	80.8%	74.3%
英	I want to be a teacher を選ぶ	98.6%	95.6%
英	June を書く	95.9%	92.9%

3 福生市学力調査からみる教科の状況（課題）

	質問項目・学力調査の問題	R7学校	R7 全国
英	「8時に登校する」を聞き取る	79.5%	88.2%
英	「10月」を聞き取る	78.1%	80.2%
英	「あなたはどうか(空腹)ですか」への答えを聞き取る	86.3%	90.1%
英	「それはどこにありますか」への答えを聞き取る	52.1%	54.1%
英	「ジャックが夏休みにしたこと」を聞き取る	91.8%	94.4%

4 課題に関する分析（児童・生徒の実態含む）

1学期の始めは、アルファベットやローマ字の確認、基本的な英単語や文法の指導(小学校の復習を含む)を重視した授業を展開していたため、日常的な英語表現の聞き取りに課題があることが分かった。特に、時刻・月・場所などの具体的情報を聞き取ることに弱さが見られる。語彙力や実際の会話経験が少ないことや、英語音声への慣れが不足していることも一因と考えられる。それに伴って、話す活動(スピーキング)や拳手をすることに自信がない生徒もいるという実態がある。

5 課題を改善するためのより具体的な手だて

日常的な英語表現のリスニング力や語彙力を高めるために、毎回の授業でALTを活用したSmall Talkの充実を図り、聞きトレ(リスニング教材)などの帯活動を徹底して語彙定着を図る。また、ワークシートの中に実際の会話場面を想定したロールプレイを定期的に取り入れることで、生徒が実際に話す機会を増やし、会話の経験不足を補う。さらに、ALTやデジタル教科書を活用した音声練習、自分の考えを発表するプレゼンテーション活動を行い、話す力と聞く力、両方の向上を目指していく。

★2年 岩尾 京子

2 福生市学力調査からみる教科の状況（成果）

	質問項目・学力調査の問題	R7学校	R7 全国
英	「ジョンが訪れたい場所」を聞き取る	73.3%	56.5%
英	ショウタがスーパーで買ったものを聞き取る	87.2%	75.9%
英	先週の水曜日の天気を聞き取る	97.7%	86.7%
英	助動詞 can で始まる疑問文を正しい語順で表す	70.9%	60.4%

3 福生市学力調査からみる教科の状況（課題）

	質問項目・学力調査の問題	R7学校	R7 全国
英	「8月」を英語で書く	16.3%	30.6%
英	英文を読み、内容に合う英文を選ぶ	46.5%	53.3%
英	ブログを読み、正しいタイトルを選ぶ	46.5%	53.0%
英	ホームページを読み、正しい日数を選ぶ	47.7%	53.9%
英	アンケートの結果と会話を読み、空欄に適する語を選ぶ	50.0%	56.2%

4 課題に関する分析（児童・生徒の実態含む）

リスニング練習や英単語・文法等の知識の定着に重点を置いた授業を展開しているため、長文読解に取り組む時間が十分に設定されておらず、問題を苦手とする生徒が多くいることがわかった。また、長文を読むことができて、情報の処理能力が十分でないために問題を解くことが難しいという実態がある。

5 課題を改善するためのより具体的な手だて

長文を読もうという意識を高めるために、ジグソー活動等の協調学習で長文読解の活動を定期的に取り入れ、長文を読むことに対する抵抗感を減らしていく。また、長文をじっくりと読むことを習慣づけるために、日頃の授業で「自分で」「落ち着いて」読むことを意識させ、まずは自分で問題を解決していこうとする意識を育てる。

★3年 小林 真央

2 福生市学力調査からみる教科の状況（成果）

	質問項目・学力調査の問題	R7学校	R7 全国
英	絵に合う行動(指示)を表す英文を聞き取る	78.2%	67.5%
英	質問(How)を聞いて適切な答えを選ぶ	82.1%	71.0%
英	英文に合う単語(answer)を書く	67.9%	39.5%
英	英文を読み、内容が一致する文を選ぶ	64.1%	52.8%

3 福生市学力調査からみる教科の状況（課題）

	質問項目・学力調査の問題	R7学校	R7 全国
英	文脈から判断して適切な動詞の形を選ぶ	64.1%	69.5%
英	SVOOを含む文を正しい語順で表す	76.9%	77.5%
英	電車を降りてからしなければならないことを書く	30.8%	33.9%
英	英文を読み、下線部の理由を表しているものを選ぶ	55.1%	56.0%

4 課題に関する分析（児童・生徒の実態含む）

コミュニケーションを主体とした授業を行っていたため、文法の間違いよりも口語的な表現で、相手に伝える活動を重視していたため、正しい語順や適切な動詞の形などが定着していない。

5 課題を改善するためのより具体的な手だて

「話す」活動とともに「書く」活動を充実させ、生徒が書いた英文をALTに添削してもらい、フィードバックの時間を確保することによって、自身の間違いに気が付かせ、改善していくことを図る。